

【耕畜連携・飼料増産】 山口県山口市 株式会社秋川牧園(山口ぐりーんねっと協議会)

- (株)秋川牧園は平成21年から、稲作農家への飼料用米の委託生産、飼料用米生産者への鶏ふん堆肥供給の取組を開始。
- 地域農業の発展、農地の維持・保全の推進、鶏ふん処理コストの低減及び耕畜連携を目的とし、飼料用稲専用品種による多収・低コスト栽培、良質な鶏ふん堆肥の水田等への還元を実施。
- 平成28年に「山口ぐりーんねっと協議会」を設立し、飼料用米保管タンクを整備。粳米で集荷・給与を行うことで保管コストや流通コストを低減し、飼料用米を安定的に利用する体制を構築。
- SDGs及び「みどりの食料システム戦略」等に沿った地域循環の取組をさらに拡大。
また、飼料用米生産に関しては、収量の安定に向け、視察会や研修会を通じて栽培技術に磨きをかけるとともに、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構と連携した新品種の導入を推進。

株式会社秋川牧園



秋川牧園
そだてる、つくる、たべる

【経営概要】

・飼養規模(R3.10現在)

肉用鶏 約210万羽

採卵鶏 約 11万羽

乳用牛 約 60頭

【自給飼料給与割合】(TDN換算)

飼料用米 10～20%

【給与畜種・羽数】

肉用鶏:87万羽

【山口ぐりーんねっと協議会体制】

■畜産農家：6戸

■稲作農家：24戸

(飼料用米委託生産面積約145ha)

■その他耕種農家：6戸

株式会社 秋川牧園グループ
(山口ぐりーんねっと協議会事務局)

鶏糞堆肥
の供給

耕種農家
(飼料用米生産者)

飼料
用米



飼料用米
保管タンク

飼料
用米

飼料会社

専用飼料
(飼料用米10～
20%配合)



飼料用米の収量向上に向けた取組

山口ぐりーんねっと協議会では、生産者間での栽培技術の研鑽を目的とし、毎年、以下の取組を実施。

- 出穂前現地ほ場視察会
- 収穫前現地ほ場視察会
- 飼料用米生産者会議